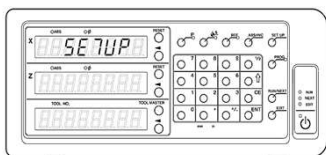


LH72-3 初期設定(例)

表示ユニット : LH72A-3(3軸入力)

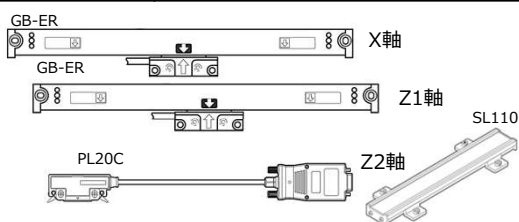


旋盤向けなので、X軸は1軸、Z軸は2軸で設定します。
詳細設定は工場出荷時の状態とします。

設定条件

	項目	設定値 (選択)
基本設定	ADD (加算表示)	入力2(Z1)と 入力3(Z2)を加算
	仕向け地	日本
	測長ユニット分解能	入力1,入力2: 0.5μm 入力3: 10 μm
詳細設定	表示分解能	基本設定の入力分解能が反映されます
	スケーリング	出荷時 1倍 (1.000000)
	補正值	出荷時 設定なし (OFF)
	ちらつき防止	出荷時 強 (2)
	スリープ	出荷時 設定なし (OFF)

測長ユニット	GB-ER(2軸 X軸、Z1軸) 出力分解能 : 0.5μm SL110(1軸 Z2軸) + PL20C 出力分解能 : 10μm
--------	--



開始

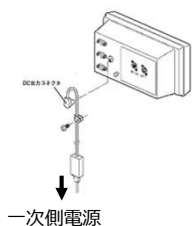
基本設定モードにします

工場出荷後、初めて“電源ON時”の場合

ACアダプターを接続し、一次側電源を“ON”する
(キーではありません)

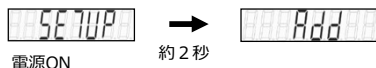
基本設定を変更したいとき

ACアダプタが通電状態で キーを“ON”
ランプが点滅→点灯に変わってから
 キーを長押し3秒

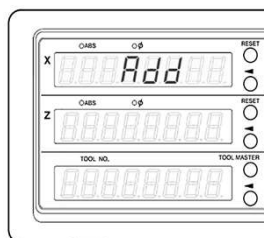


一次側電源

LH72-3の場合

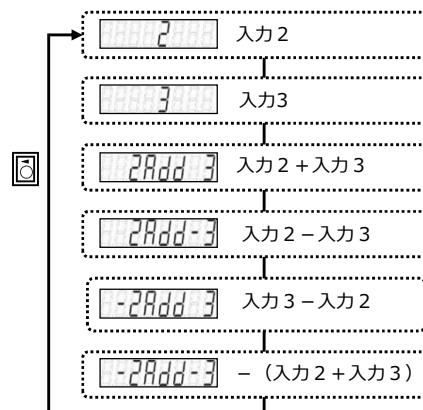


次の表示が現れます



加算機能の選択

- 表示が の状態で、表示右側の キーを1回押します。
表示が になります。(加算なし、Z軸は入力2)
 キーを押し、加算機能の選択をします。
Z軸表示を入力2 + 入力3に設定するときは、 を選びます。
選択が完了したら キーを押し設定を保存します。





次ページにつづく

②  キーを1回押すと、表示が **COUNT724** になります。(仕向け地の選択モード)


表示右側の  キーを1回押します。

表示が **57d** になります。

 キーを2回押し、仕向け地選択を **JPN** にします。


選択が完了したら  キーを押し設定を保存します。


③  キーを1回押すと、表示が **510RES** になります。(測長ユニット分解能)

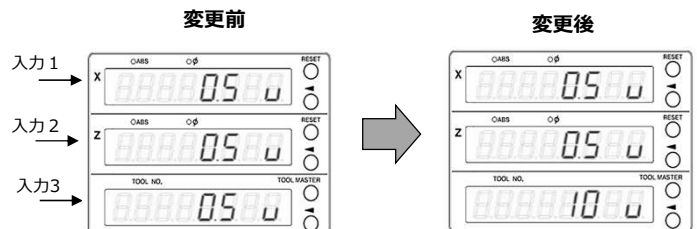
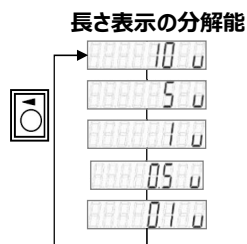
表示右側の  キーを1回押すと現在の測長ユニット分解を確認できます。

入力1、入力2の分解能が0.5 μ mであることを確認します

入力3の分解能を0.5 μ mから10 μ mへ変更します。

入力3の右側の  キーを6回押し10 μ mを選択します。

選択が完了したら  キーを押し設定を保存します。





接続する測長ユニット


入力1: X軸、分解能0.5 μ m (GB-ER)


入力2: Z1軸、分解能0.5 μ m (GB-ER)

入力3: Z2軸、SL110+PL20Cの場合は分解能は0.5 μ mから10 μ mへ変更します。

④  キーを1回押すと、表示が **CANCEL** になります。


 キーを1回押すと、表示が **FINISH** になります。


⑤  キーを1回押すと、自動的に詳細設定のモードになり表示が **dSP RES** になります。

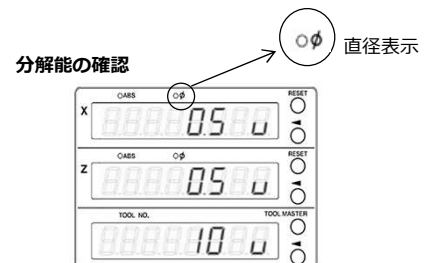
 キーを1回押し、表示分解能が正しい分解能設定になっていることを確認します。


(極性を変更したいときは  キーを押してください)

入力1はX軸なので直径表示にします

X軸の  キーを押すことで、分解能と直径表示ランプを選択できます。

選択が完了したら  キーを押し設定を保存します。



⑥  キーを押すと、表示が通常表示になります。

以上で初期設定が完了しました

完了